





2006年11月11日



2006年5月14日



2007年7月1日



2008年4月12日



2008年3月16日

秋葉に住む

LIVING IN AKIHABARA 2009.08 VOL.10

TABLE OF CONTENTS

巻頭カラー

1 2009 年初夏 秋葉原空中散歩

7 過去の写真から…

<特集>

10 秋葉原と「秋葉に住む」の5年

バックナンバー

14 アーカイブスセレクション

秋葉原居住に関する

20 よくある質問と回答

竣工・入居開始から5年を迎える

22 TOKYO TIMES TOWER

秋葉に、帰ろう。

28 秋葉原終電案内 2005年3月平日 2009年7月平日 比較版

30 秋葉の私室 特別編 私室のその後 有明の私室

42 分譲・仲介物件ガイド

48 賃貸物件ガイド

55 主要参考文献・主要参考 WWW サイト

56 編集後記・奥付

コラム

13 練成中学校跡地に「ちよだアートスクエア」 開設へ

番外編：有明に住む

40 「Brillia マーレ有明」特集

エッセイ

21 秋葉原の更なる発展性を探る … 松田 敏孝

53 「69 号室は空いていますか？」視聴記 最終回 (?) … 資料提供：TTT 住民 SK

54 秋葉原 TX 沿線事情 … ビス 美素・オードリー

おことわり

本書の内容は個人的な興味による調査に基づいており、100%の正確さを保証するものではありません。入稿時点(2009年7月中旬)で判明している可能な限り最新の情報となるようにしておりますが、入稿後の状況の変化も起こり得ます。賃料・物件価格につきましては参考として掲載しておりますが、この賃料・価格を保証するものではありません。内容の事実関係につきましては必要に応じ公式な情報をご確認願います。本書の利用により損害を受けた場合にも、発行サークル及び執筆者は一切の責任を負わないものとします。

本書の執筆者は秋葉原の一住人であり、千代田等各区役所、東京都庁、不動産関係業者、不動産情報提供業者等とは関係ありません。本書の内容につきましては上記機関、各町会、TMO、及びマンション管理組合との直接の関係は一切ありません。

特集 秋葉原と「秋葉に住む」の5年

サークル「秋葉に住む」の発足からこの夏で5年を迎えます。また、発行誌「秋葉に住む」も今回で第10号となります。

この5年間で、秋葉原を巡る状況は大きく変化しました。特に、「住む」という観点で見ると、5年前に比べても居住するための生活環境は大幅に整ってきたと同時に、住む場所としての秋葉原というものが、少しは認知されてきたのではないのでしょうか。

第10号記念として、秋葉原と当サークルの5年を振り返ってみます。

当サークルと秋葉原に関する主なできごとを纏めたのが、左の表です。秋葉原は「変化を受け入れる街」であるというのが私の考えですが、この5年間のうち、秋葉原が最も激しく変化をしたのは2005年の夏、7月から9月に掛けてでしょう。この時期には

- ・テレビドラマ版「電車男」放映
- ・「つくばエクスプレス」開業
- ・「ヨドバシAkiba」オープン

という三つの大きなできごとが立て続けに重なり、これにより秋葉原は世間で最も注目される街に躍り出ます。その後ブームはある程度沈静化しますが、この時期に出来上がった秋葉原のイメージが、世間的には今なお強く残っていると言えるでしょう。

「秋葉に住む」と秋葉原に関する主なできごと

2004年(平成16年)

7月18日	サークル「秋葉に住む」発足。
8月14日	「ドン・キホーテ秋葉原店(外神田4-3)オープン。
10月19日	「東京タイムズタワー」(外神田4-14)入居開始。

2005年(平成17年)

3月21日	東京ビッグサイトにて「コミケッツスペシャル4」開催。「秋葉に住む VOL.01」発行。
3月21日	ヤマギワ東京本店(外神田4-1)閉店。
3月31日	「秋葉原ダイビル」(外神田1-18)オープン。
3月31日	「千代田区立練成中学校」(外神田6-11)閉校。「神田一橋中学校」に統合。
5月12日 ～5月17日	平成17年「神田祭」開催。
6月2日	「atrevie 秋葉原」(神田花岡町)オープン。
7月7日	テレビドラマ「電車男」放映開始。
8月14日	コミックマーケット68開催。「秋葉に住む VOL.02」(特集:下町、神田、秋葉原/外神田の周辺)発行。
8月24日	「つくばエクスプレス」(秋葉原～つくば間58.3km)開業。 「秋葉原駅東側交通広場」が開設され、秋葉原駅周辺の路線バスの経路が変更される。 「秋葉原駅東西自由通路」開通。
9月1日	「セブンイレブン 外神田4丁目店」(外神田4-7)オープン。
9月16日	「ヨドバシ Akiba」(神田花岡町)オープン。
11月7日	「ココス秋葉原店」(外神田2-4)オープン。
12月30日	コミックマーケット69開催。「秋葉に住む VOL.03」(特集:秋葉原生活ガイド)発行。

2006年(平成18年)

3月9日	「秋葉原 UDX」(外神田4-14)オープン。
5月14日	「交通博物館」(神田須田町1-2)閉館。
8月13日	コミックマーケット70開催。「秋葉に住む VOL.04」(特集:データでみる秋葉原)発行。
9月30日 ～10月1日	万世橋地区地域コミュニティ活性化事業「万世橋ルネッサンス」UDXビルにて開催。
12月31日	コミックマーケット71開催。「秋葉に住む VOL.05」(特集:秋葉原の夜)発行。
12月31日	「アキハバラデパート」(外神田1-17)閉店。

2007年(平成19年)

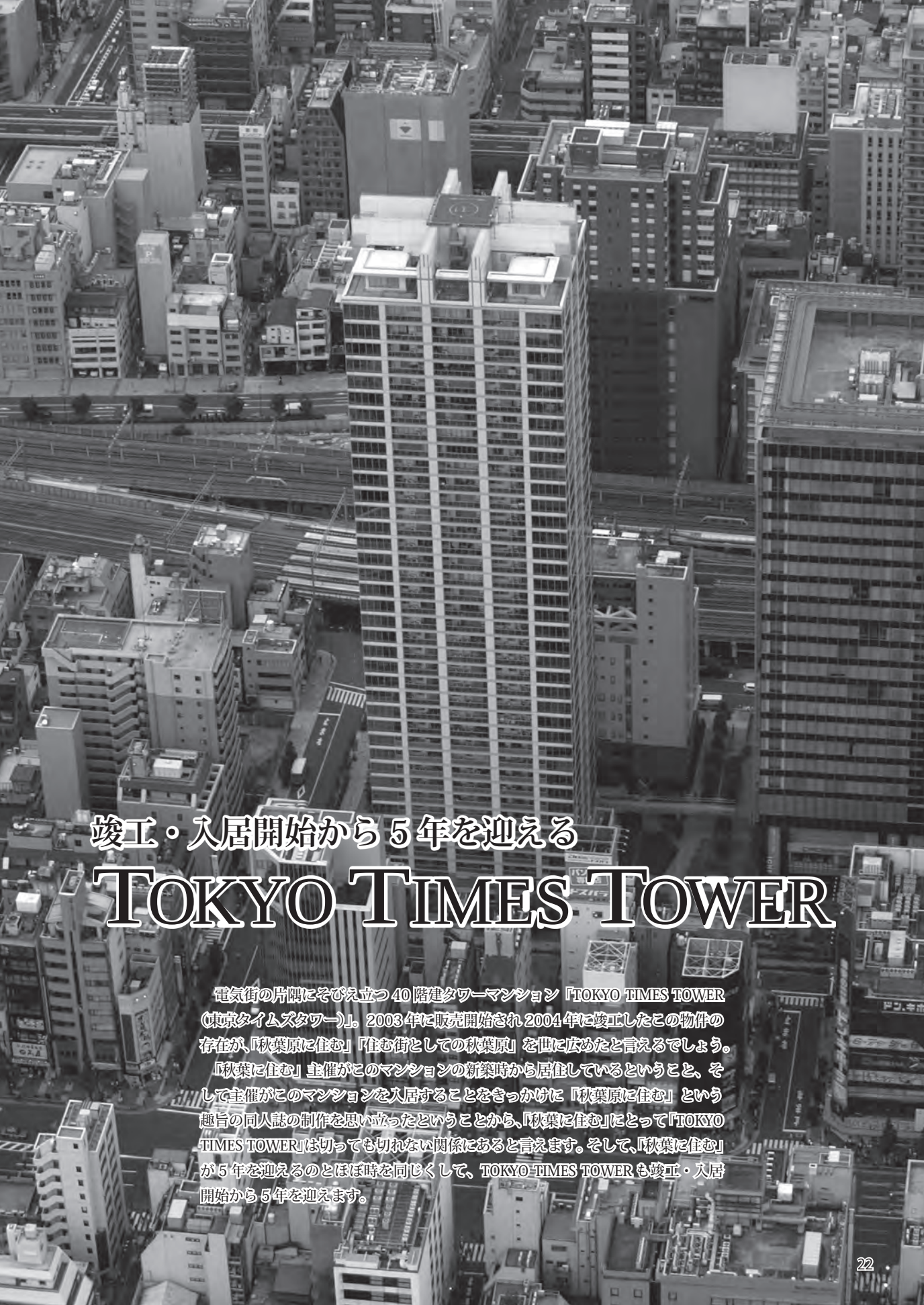
2月5日	「富士ソフト秋葉原ビル」(神田練塀町)竣工。
5月10日 ～5月14日	平成19年「神田祭」開催。
6月20日	UDXビル西側の道路に通称名「アキバ田代通り」が名付けられる。
7月28日	「神田山本町会」設立。範囲は外神田1-18及び4-14。
8月19日	コミックマーケット72開催。「秋葉に住む VOL.06」(特集:秋葉原町会ガイド)発行。
9月6日	「ソフマップ秋葉原本館」(市川・カンプドロー・ヤマギワ共同ビル)(外神田4-1)オープン。
9月30日	「LaOX ザ・コンピュータ館」(外神田1-7)閉店。
12月10日	「秋葉原タウンマネジメント株式会社」設立。
12月31日	コミックマーケット73開催。「秋葉に住む VOL.07」(特集:秋葉原に住む価値を考える)発行。

2008年(平成20年)

1月	「タワーレジデンス東京」(台東区台東1-2)竣工。
4月17日	「TX 秋葉原阪急ビル(REMM 秋葉原・AKIBA TOLIM)」(神田佐久間町1-6)オープン。
4月24日	「チョムチョム秋葉原」(神田佐久間町1-13)オープン。
4月27日	「秋葉原センタープレイスビル」(神田相生町)竣工。
6月8日	秋葉原無差別殺傷事件
6月30日	「大丸ピーコック 神田妻恋坂店」(外神田2-14)オープン。
8月17日	コミックマーケット74開催。「秋葉に住む VOL.08」(特集:秋葉原で子育て)、「秋葉に住む臨時増刊 分譲マンションの選び方・買い方」発行。
9月14日 ～9月15日	「万世橋ルネッサンス2」UDXビルにて開催。
12月30日	コミックマーケット75開催。「秋葉に住む VOL.09」(特集:秋葉原再開発/秋葉原路線バス案内)発行。

2009年(平成21年)

5月7日 ～5月15日	平成21年度「神田祭」開催。
7月1日	「住友不動産秋葉原ビル」オープン。

An aerial, black-and-white photograph of a dense urban landscape in Tokyo. The central focus is the Tokyo Times Tower, a tall, rectangular skyscraper with a grid-like facade of windows. It stands out among other mid-rise buildings. To the left of the tower, a complex network of railway tracks is visible. The surrounding area is filled with various types of city buildings, including residential blocks and commercial structures. The overall scene captures the intense verticality and compactness of the Japanese metropolis.

竣工・入居開始から5年を迎える

TOKYO TIMES TOWER

電気街の片隅にそびえ立つ40階建タワーマンション「TOKYO TIMES TOWER（東京タイムズタワー）」。2003年に販売開始され2004年に竣工したこの物件の存在が、「秋葉原に住む」「住む街としての秋葉原」を世に広めたと言えるでしょう。「秋葉原に住む」主催がこのマンションの新築時から居住しているということ、そして主催がこのマンションを入居することをきっかけに「秋葉原に住む」という趣旨の同人誌の制作を思い立ったということから、「秋葉原に住む」にとって「TOKYO TIMES TOWER」は切っても切れない関係にあると言えます。そして、「秋葉原に住む」が5年を迎えるのとほぼ時を同じくして、TOKYO TIMES TOWERも竣工・入居開始から5年を迎えます。



スカイロビー (2 階)

TOKYO TIMES TOWER パンフレット・実写 比較写真



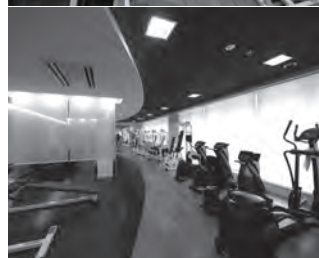
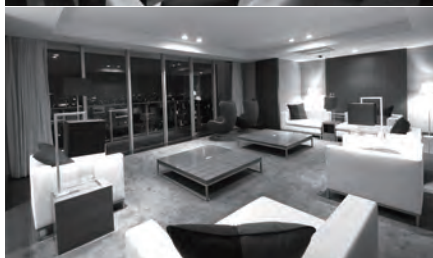
ゲストルーム・スペリオール



スカイラウンジ



フィットネススクエア



TOKYO TIMES TOWER 概要

所在地	東京都都市計画事業秋葉原駅付近土地画整理事業施行区内 3 街区（仮換地指定済） 従前地：東京都千代田区神田花岡町 1-11 底地：東京都千代田区外神田 4 丁目 49-1（地番） 住居表示：東京千代田区外神田 4 丁目 14 番 2 号
敷地面積	3,045.73m ²
建築面積	1,467.49m ²
延床面積	39,496.19m ² (容積対象外面積 10,118.14m ² 含む)
総戸数	318 戸
構造・規模	鉄筋コンクリート地上 40 階地下 1 階建
専有面積	44.14m ² ～ 287.09m ²
駐車場	133 台 (エレベータ式 132 台、身障者用平面駐車場 1 台)
自転車置場	226 台
バイク置場	14 台
その他主な共用設備	スカイラウンジ、ゲストルーム 2 室 (31 階) フィットネススクエア (13 階) 集会室 (2 階)
管理会社	コスモスライフ
建物竣工時期	平成 16 年 9 月下旬
入居開始日	平成 16 年 10 月 19 日
取引態様	<売主・設計・施工> 鹿島建設株式会社 <販売代理> 三井不動産販売株式会社

「TOKYO TIMES TOWER」販売時のパンフレット等から、この物件の概要を改めて見直してみます。パンフレットは建物竣工前に作成されていますので、共用施設などについてはCGで作成されています。これらと実際の建物とも比較してみました。

左の表は図面集に記載されていた概要です（概要の変更事項に基づき修正済み）。所在地の「従前地」に「神田花岡町」とありますが、これは現在のヨドバシAkiba付近です。数百メートル離れた土地が唐突に出現する理由は、TTTの建物が販売時点では「仮換地」という一種の借地の上に建てられており、TTTの区分所有者は現時点では神田花岡町の土地を（少なくとも登記上は）所有しているためです。この一種奇妙な状態は、2011年に予定されている換地処分により解消されます。（詳しくは「秋葉に住むVOL.09」の特集「秋葉再開発」をご参照下さい。）